

島じまん2012開催



5月26日、27日に港区の竹芝ふ頭公園で、伊豆諸島・小笠原諸島の2町7村がそれぞれの文化や特産品などを紹介する「東京愛らんどフェア島じまん2012」が開催されました。

2年に1度の、この『島じまん』では、ステージでの「さかなクンの世界一受けたいお魚授業」や各島の太鼓や踊りなどを始めとした『見る』コーナー、各島の特産品が集合した『食べる』コーナー、各島伝統工芸の体験ができる『体験する』コーナーなど様々な催しがあり、来客数は8万7千人(前回比17千人)

にもなりました。

新島村からは『見る』コーナーにフラの「アロヒ・アイラナ・ヌーキマ」の皆さんと「Nijijima Steel Band」の皆さん、また「式根島大漁太鼓」の皆さんが参加し、会場を沸かせました。

『食べる』コーナーの物販ブースでは、いししま漁協JA島しょ新島店、水産加工組合、新島村商工会、飲食ブースではダイエイ商店さんが参加し、完売となりました。

『体験する』コーナーでは、やな工房さんがシーボーンアート(貝殻ランプシェイド)制作を実施しました。



▲アロヒ・アイラナ・ヌーキマ



▲式根島大漁太鼓



▲ Nijijima Steel Band

式 中 旧木造校舎の柱(幣束)の展示

式根島中学校は、本年度で66年目を迎える伝統ある学校です。毎年、5月の開校記念日(5月7日)には、卒業生の方をお招きし、全校生徒でその当時の中学校のお話をうかがう会を行っています。今年、さらにこの会にあわせ、正面玄関の下駄箱上に旧木造校舎建設時に使用した柱(幣束)を展示いたしました。



▶ 玄関への展示の様子

◀ 幣束の説明文

島民の願いをこめて始めは小学校を借りての授業が続いていたが現在の校庭南側に木造の校舎が島民の夢のせて完成しようとしています。

この柱は
上棟式以後の
厄除けを司る
神の道具のひとつ
幣束である

ので、その縁起物の柱を、島民の方が家屋で使われていました。昨年、家屋の改築にともないこの柱があることを、別の島民の方より教えていただき、中学校で展示しようと保管していました。厄除けを司る神の道具のひとつ、「幣束」として使われていた柱です。

正面玄関に展示してある昭和27年当時の生徒・教職員の努力で購入・使用した発電機とともに本校の歴史を感じさせる展示となりました。

村民ふれあい踊りの夕べ 二三芳姫会



5月26日土曜日、本村地区住民センター2階集会室で、二三芳姫会による「村民ふれあい踊りの夕べ」が開催されました。

「おしろい花」や「川の流れるように」、「愛燦燦」など20以上の演目を門下生たちで踊り、会場を満員に埋められた。住民の皆さんを楽しませました。

ゴミのキャンペーンへの

ご協力の感謝

皆さま、ご協力ありがとうございました。

昨年は荒天のため実施のできなかった村内美化運動『ゴミ0キャンペーン』ですが、今年6月3日(日)に村内全域で実施されました。

休日の朝早くにもかかわらず、多くの住民が参加してくれました。

この日集まったゴミの量は、2トントラックで本村地区41台、若郷地区9台、式根島地区20台の計70台となりました。



式根島・新島消防団が春季幹部訓練



6月6日に式根島消防団、翌7日には新島消防団が幹部団員を対象に東京都消防訓練所から教官を招き春季訓練をしました。

6日、式根島では規律訓練とAED(自動体外式除細動器)講習を、翌7日、新島では各災害への対応の講習会や規律訓練が行なわれ、災害を想定した無線の訓練も実施しました。

今回は新島村商工会女性部の皆さんがAEDの操作を体験。もしものときに備えました。



ご意見箱への回答

現在、村内各所に置かれているご意見箱に投書されたご意見・ご提言の中から6月までの回収分について、担当課が回答します。

なお、掲載にあたっては、スペースの都合で文章の省略・削除・変更を行ないました。また、同じ理由からすべての回答を掲載することはできませんので、ご了承ください。

■眼科専門診療について

眼科に来ても船に乗り遅れるのではないかといつもハラハラします。前から式根住民は早くということになっているのですが、年寄りなど本当に困っています。式根島地区に眼科が来島できないのだから、先に受診できるようお願いしたく思います。

【回答：本村診療所】

ご意見ありがとうございました。

式根島住民の皆さまには、専門診療のたびの通院、ご不便をおかけしております。

毎月実施している眼科に限らず、専門診療の際は式根島から受診される住民の方々については、連絡船にスキの出航時間間に合うよう、順番の調整を行い、優先的に受診できるよう対応しております。

受診者が多く、不安を感じることもあるかと思われそうですが、ご安心ください。

五島をつなぐ 支庁の窓

No.4

大島支庁管内都事業説明会を開催しました。

東京都は大島支庁管内町村でどのような事業を実施しようとしているのか、目的、規模、場所など事業の内容を町村及び各機関に対して説明し、都施行事業に対するご理解と協力をいただくことを目的として、毎年度当初に「大島支庁管内都事業説明会」を開催しています。

今年度も新島村については5月14日(月)に住民センターで、村長をはじめとする役員、村議会議員及び関係団

体(農業協同組合、漁業協同組合、観光協会、商工会、水産加工業協同組合)の皆さんにお集まりいただき、支庁長以下各所属長から、平成24年度事業計画概要を説明すると同時に事業計画に対する質問や意見をお伺いしました。

今後とも、島民の皆様の安全・安心を確保し、創意工夫と地域特性を活かした振興を図り、豊かな生活を確保するため、村と大島支庁が十分な連携のもとに引き続き力を合わせて取組んでまいります。

【主な説明】

- ▼産業課：商工・観光対策、農業振興、治山・林道整備、漁業生産流通基盤整備等
- ▼土木課：道路・橋梁整備、海岸整備、園地整備等
- ▼港湾課：港湾・漁港整備等
- ▼島しょ農林水産総合センター大島事業所：水産資源の持続的利用に関する研究、農業振興技術対策、農業改良普及指導等
- ▼島しょ保健所大島出張所：保健所健康相談、食品環境衛生対策等
- ▼教育庁大島出張所：教育委員会との連携、学校教育活動への支援等

天宥法印墓前祭

6月8日、山形県鶴岡市羽黒町の出羽三山神社の天宥別当墓参講御一行14名が来島し、天宥法印墓前祭が行なわれました。

儀式は午後5時に、ほら貝の合図で始まり、花や山菜などをお供えした墓前で祝詞や追悼文を読み上げました。



島民まつり2012「ゆうばま祭」開催決定!

とき：8月25日(土) 午後3時～午後8:30

場所：新島港船客待合所前広場
祭りの詳細は今後、広報にいじまお知らせ版などでお知らせします。

◆博物館だより◆

■企画展のお知らせ

新島村博物館の本年度企画展は「新島はカンムリウミスズメのホットスポット〜絶滅危惧種の新島から見る新島」です。

新島村博物館と日本野鳥の会が共催します。日本野鳥の会と博物館が共同で2011年から3年間、伊豆諸島のカンムリウミスズメの生息を明らかにするために調査を行ってきました。その結果、伊豆諸島で推定千羽以上が生息するなど国内最大級の生息海域であることが明らかになりました。

中でも新島の周辺海域は個体数が多く、繁殖地が数か所存在する重要な生息地です。このため、この企画展で、住民の皆様にかんむりウミスズメの希少性と現状を伝えることで、新島の海洋環境の魅力を知って頂き、また、その保全に目を向けてもらうキッカケとしたいと考えています。

世界の海鳥や他のウミスズメ科の仲間、生態などの紹介をはじめ、カンムリウミスズメとの関わりなどをお話しいただきます。他にもウミスズメの減少の

要因や保護の取り組み、住民参加の方法等を紹介いたします。

パネルはイラスト原画などを含む18枚。皆様にわかりやすい展示形態を取りますので、ぜひ企画展をご覧ください。

日時 平成24年7月19日(木) 平成25年2月20日(水)

場所 新島村博物館2階
▼展示内容(パネル展示)

- ①海鳥とは
- ②世界のウミスズメの仲間とその生息
- ③カンムリウミスズメとは
- ④伊豆諸島のカンムリウミスズメと日本野鳥の会の調査
- ⑤新島はカンムリウミスズメのホットスポット
- ⑥新島の人々とカンムリウミスズメの関わり
- ⑦私たちにできること
- ⑧写真とイラストで綴るカンムリウミスズメ
- ⑨フォトフレームで映像を流す
- ⑩卵の標本や剥製の展示
- ⑪子どもコーナー(ぬり絵・パズル・クイズ等)

問い合わせ

新島村博物館
Tel 57070
Fax 51998
担当 前田好眞江